

砂丘地域の概況

庄内砂丘は、鶴岡市湯の浜温泉から遊佐町吹浦まで長さ33.5km、平均幅2km（遊佐町藤崎、菅里付近1.5km 酒田市黒森付近2.5km 酒田市七窪付近3.0km）で総面積7,672ha、うち耕地は約2,400haで、30%を占める日本でも有数の砂丘である。

会場までの交通案内

- ① JR酒田駅より加茂水族館、または湯の浜温泉行バスで、試験場前下車（所要時間50分）
（日中1時間に約1本運行）
- ② JR鶴岡駅より善宝寺経由湯の浜温泉行バスで七窪下車、酒田駅行バスに乗りかえて、試験場前下車（所要時間50分）
- ③ JR酒田駅よりタクシーで30分
- ④ JR鶴岡駅よりタクシーで25分
- ⑤ 庄内空港からタクシーで3分



要 OUTLINE 覧



[位置：東経139.47度 北緯38.48度 標高13m]

山形県庄内総合支庁産業経済部農業技術普及課 産地研究室

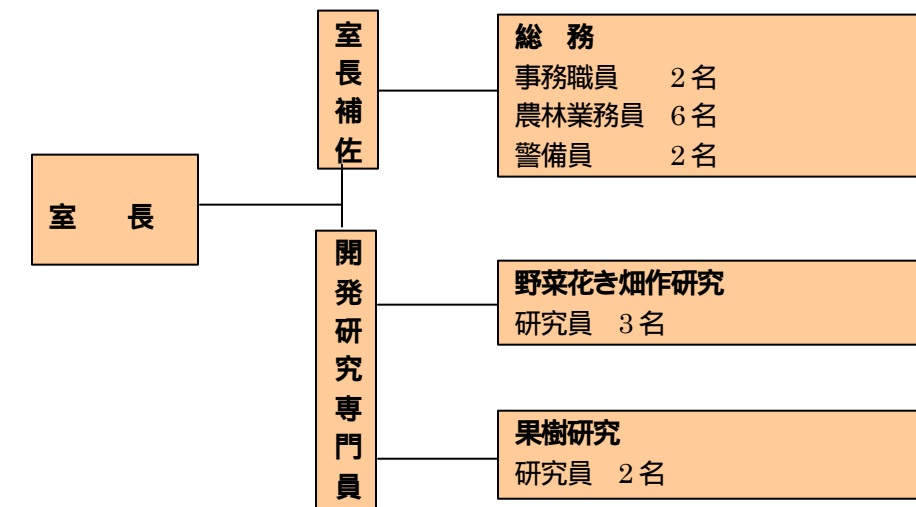
〒998-9112 山形県酒田市浜中字八窪1 TEL:0234-91-1250 FAX0234-91-1258
Yamagata Prefectural Shonai Area General Branch Administration
Production Center Research Division
No1 Yakubo, Hamanaka, Sakata-shi, Yamagata-Pref 988-0112, Japan



沿革

- 昭和 11年 4月 1日 旧袖浦、西郷両村からの用地寄付と市町村からの援助により県立農業試験場砂丘試験地として設立
- 昭和 25年 8月 31日 試験研究機関の整備により農業試験場砂丘分場と改称
- 昭和 32年 12月 農業試験場 60周年事業により実験室、堆肥舎の新築と本庁舎の一部改築
- 昭和 42年 4月 1日 園芸試験場に所管替えに伴い、園芸試験場砂丘分場と改称
- 昭和 53年 4月 1日 砂丘地農業試験場として独立
- 昭和 63年 3月 本館完成
- 昭和 63年 12月 付属棟、ガラスハウス等完成
- 平成 7年 8月 果樹園用かん水施設の整備
- 平成 8年 12月 堆肥舎整備
- 平成 17年 4月 庄内総合支庁に所管替えに伴い、農業技術普及課産地研究室に改称

組織



施設

区分	主な施設名	面積㎡	備考
建物	本館	1,499	
	付属棟 (管理室格納庫等)	814	
	地域農業研修棟	94	
	冷蔵庫	86	
	揚水室 (2棟)	36	
	車庫	72	
	堆肥舎	66	
ハウス関係	新品種育成ガラスハウス	94	
	ガラスハウス	554	
	ファイロンハウス	243	
	"	108	
	夜冷育苗施設	50	
	野菜花きビニールハウス	2,970	28棟
ぶどう雨よけハウス	1,130	4棟	
おうとう雨よけハウス	1,400	5棟	

用地

区分	面積
建物、農道、防風林	5.99ha
野菜、花き畑作ほ場	2.35ha
果樹ほ場	2.36ha
合計	10.7ha